

片桐 直人

高等司法研究科・准教授

【研究】

本年度も、①財政憲法、②宗教法の領域を中心に研究を進めたほか、③憲法学一般についても研究を進め、いくつかの論考を公表した。

①については、科研2件の研究プロジェクトに沿いつつ、論文3件(うち既発表論文の単行本化1件を含む)を公表し、学会報告1件、研究会報告3件を行った。また、財務省の要請に応じて、会計法の研究も行っている。

②については、科研2件のプロジェクトに沿いつつ、論文1件を公表し、研究会報告1件を行った。

③については、科研1件のプロジェクトに併せて、共編著1件(既発表論文の単行本化。2件の論文が含まれる)を公表し、論文1件、判例評釈1件が公表予定である。また、全国知事会、総務省等の要請に応じて、地方自治制度の研究を進めた。

【教育】

平成29年度は、これまでの高等司法研究科、学部、全学共通教育機構での教育経験を踏まえて、ケースブック2件(共著)、演習書1件(共著)を上梓した。また、本学で開催された日弁連主催公法訴訟サマースクールに登壇し、憲法の事例問題に関するコメントを行った。高等司法研究科において開催された法律文書作成錬成講座の出題者を務めた。新入生オリエンテーションにおいて、判例データベースの使い方の解説を行った。授業においては、レジュメに基づく丁寧な講義を心掛けた。

【管理運営】

全学委員会の委員として、ハラスメント全学相談員、動物実験委員会委員を務めた。

部局内委員会の委員として、高等司法研究科教務委員会委員を務めた。

このほか、高等司法研究科パンフレット作成WGを務めた。

【社会貢献】

昨年度に引き続き、枚方市情報公開・個人情報保護審査会(副会長)、高槻市個人情報保護運営審議会委員、大和高田市個人情報保護運営審議会委員等を務めたほか、大阪市行政不服審査会委員を務めた。

また、財務省会計制度研究会、総務省 21 世紀地方自治制度調査研究会、全国知事会憲法における地方自治の在り方検討 WT に委員として参加した。

一般向けの啓蒙活動として、岸和田健老大学、関西経済連合会、Yahoo!JAPAN、経済同友会でそれぞれ 1 回、一般向けの講演会を行ったほか、朝日新聞の特集記事にインタビューが掲載された。また、インターネット・メディアの要請に応じて、解説記事を執筆した。

所属する宗教学会では、理事を務めている。